



## 目次



1.	概要		3
	1.1	概要	4
	1.2	システム構成	5
	1.3	設定70-	6
2.	MELS	SEC iQ-Rの設定	7
	2.1	プロジェクトの作成	8
	2.2	自局の設定	10
	2.3	シンプルCPU通信設定	11
3.	MELS	SEC-Fの設定	15
	3.1	Ethernetポート設定	16
4.	動作研	<b>在言わ</b> 正 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	19
	4.1	動作例	20
	4.2	動作確認	21



# 1. 概要



本書では、MELSEC iQ-RシリーズEthernetユニットRJ71EN71とMELSEC-FシリーズEthernet通信特殊アダプタ FX3U-ENET-ADPを、Ethernet(シンプルCPU通信機能)で接続するための設定手順を説明しています。 シンプルCPU通信機能は、パラメータを設定するだけでEthernetで接続された機器間でのビットデバイス/ワードデバイ スを読み書きできます。

4



本書では、下記のシステム構成で説明しています。



機器	/ソフトウェア		形名	F/Wバージョン	IPアドレス
(1)	シーケンサCPUユニ	чŀ	R04CPU	63	
(2)	Ethernetユニット		RJ71EN71	58	192.168.1.100
(3)	Ethernet通信特殊	未アダプタ	FX3U-ENET-ADP		192.168.1.250 (デフォルト)
(4)	FX3UC 基本ユニッ	٢	FX3UC-16MT/D		—
(5)	設定用パソコン GX Works2*1		—		192.168.1.10
	GX Works3 <sup>*2</sup>				
(6)	ハブ		—	—	—

\*1 本書では、バージョン1.612Nを使用します。

\*2 本書では, バージョン1.086Qを使用します。



前項の「システム構成」にて、シンプルCPU通信で接続するための設定手順について説明します。 下記の手順に沿って、設定や動作確認を行います。 MELSEC iQ-RはGX Works3で、MELSEC-FはGX Works2で設定を行います。



GX Works3を使用して, CPUユニットのパラメータや RJ71EN71側のIPアドレス, 接続相手の設定を行います。

GX Works2を使用して, IPアドレスやパラメータの設定な どFX3U-ENET-ADPがRJ71EN71と接続するための設定 を行います。

RJ71EN71からMELSEC-Fのデバイス値の読出し/書込みができるか動作確認を行います。



# 2. MELSEC iQ-Rの設定

2.1 プロジェクトの作成



GX Works3でMELSEC iQ-Rシリーズのプロジェクトを作成します。

1. プロジェクトを新規作成します。

### シリーズ: RCPUを設定

### 機種: システム構成に合わせて設定

新規作成		×
シリーズ( <u>S</u> )	🐗 RCPU	~
機種( <u>T</u> )	12 R04	~
動作エード(M)		
ショッドビーへ団ク プロガラム言語(G)	→ガー	~
	<u> </u>	
	OK	キャンセル

2. [ナビゲーション]→[ユニット構成図]でユニット構成図を設定し

### ます。

必要なユニット(ベースユニット, 電源ユニット,

CPUユニット, 情報ユニット「RJ71EN71」)をシステム構成に 合わせて設定します。





# 2.1 プロジェクトの作成

3. ユニット構成図の「RJ71EN71」をダブルクリックし, [は い]ボタンをクリックしてパラメータを確定します。



# 2.2 自局の設定



RJ71EN71のポート1のユニットパラメータ(Eternet)の"基本設定"から自局のパラメータを設定します。

## 1. RJ71EN71のIPアドレスを設定します。

### IPアドレス: 192.168.1.100

0000:RJ71EN71(E+E) ユニットパラメータ			×	
設定項目一覧	設定項目			
検索する設定項目をこに入力	項目 ・ <i>自ノード設定</i> ・ パラメータ設定方法 ・ Pアアドレス設定	設定 パラメータで設定		
<ul> <li>● ● 基本設定</li> <li>● ● ノード設定</li> <li>相手報告報後構成設定</li> <li>● ● 応用設定</li> </ul>	Pアドレス ワイクリャスク デフォルトゲートウェイ ー ネットワークNo /局着による交信 ネットワークNo /局着による交信 ネットワークNo - 局着 トランジェント伝達グループNo. - RUN中の書込み許可/禁止設定 文信データコード オーナン方法の設定 相手 銀眉接続構成設定	192 168 1,100 第33 第33 第33 第33 第33 第33 第33 第		
	3309 自ノードに関するIPアドレス等を設定します。 チャッパK) デ	·'フ≠ルト(r.宦求(1))	^ ~	
項目一覧 検索結果	11112	70/01/C/R 71/2/	適用( <u>A</u> )	



RJ71EN71のポート1のユニットパラメータ(Eternet)の"応用設定"からシンプルCPU通信を行うための設定をします。

1. シンプルCPU通信設定のシンプルCPU通信使用有無を "使用する"に設定し,シンプルCPU通信を有効にします。

0000:RJ71EN71(E+E) ユニットパラメータ			x
設定項目一覧	設定項目		
検索する設定項目をここに入力	項目	設定	^
	- シンプルCPU 運信使用有無	使用する	~
Pr 日本     Pr 日本		5 S < 使用しない 通常 起動する 5 S < < ば¥細股定> < < ば¥細股定> < 使用しない (確認> (使用しない)	
<ul> <li>ゲートウェイパラメー処設定 ネットワーク局番(~)F関連情緒 部込み設定 ドパケット中地設定 スシトワーク動的リーラング設定 ユニット動作モード設定</li> <li>く 項目一覧 検索結果</li> </ul>	ます日 ます日 シンプルCPU3動信を「使用する」、「使用し チェック( <u>k</u> )	ない」を設定します。 デフォルトに戻す( <u>U</u> )	~ ~
		適	用( <u>A</u> )

2. シンプルCPU通信で読出し/書込みする相手機器を設定し ます。シンプルCPU通信設定の"<詳細設定>"をダブルク リックします。

<ul> <li>設定項目</li> <li>項目</li> <li>シンプルCPU通信設定</li> <li>シンプルCPU通信設定</li> <li>CPU応答監視タイマ</li> <li>単位</li> <li>シンプルCPU通信設定</li> </ul>	★ 使用する 5 ○ 〈詳細設定〉	設定 [] \	
	設定項目		_
教室する設定項目をここに入力	通信開始結布5時間 通信開始結布5時間 通信開始待ち時間 0	交信相手フィルタ s (0s~255s)	
<ul> <li>● 日本</li> <li>● 基本設定</li> <li>● 自ノード設定</li> <li>村手機器損続構成設定</li> <li>● 応用設定</li> <li>・ ブレーム設定</li> <li>・ 通信速度設定</li> <li>● FTPサー/設定</li> <li>● MOBUS/TOP設定</li> <li>● シングルのPU通信設定</li> <li>● シングルのPU通信設定</li> <li>● シングルのPU通信設定</li> <li>● シングルのPU通信設定</li> <li>● シングルのPU通信設定</li> <li>● シングルのPU通信設定</li> </ul>	設定 No. パターン 単行間周(ms) 1 2 3 4 5 6 7 7	文信相手 (ドアドレス) 転送元 -> -> -> -> -> -> -> -> -> -> -> -> -> -	^
<ul> <li>サマメロス定</li> <li>データ交欠信用のタイマ設定</li> <li>ゼキュリティ</li> <li>ゲートウェイパラメータ設定</li> <li>ネットワークの着くつい間違法情報</li> <li>割込み設定</li> <li>アドパット中省設定</li> <li>ネットワークの増払りレーチング設定</li> <li>ネットワークの動けいーチング設定</li> <li>ユニット動作モード設定</li> </ul>	_ 8   <b>8</b>   CPUユ_から立ち上げ完了後、通信を開始する。   設定範囲]   0〜255s(1s単位で設定)	-> → までの時間を設定してください。	>
< > 項目一覧 検索結果	Ŧ1yŊ( <u>()</u> 77 <i>4</i> /J	トに戻す(山)	(4)



 MELSEC-Fからビットデータ/ワードデータを読み出すため, 設定No.1に以下の項目を設定します。



ビットデバイス									ワード	デバイ	ス				
L 34	上志 転送元		また 転送元 、			転送先		上来		上## 転送元		->	転送先		
ACRX.	種問	牛頭	最終	-/	種別	牛頭	最終	NK BX	種問	牛頭	最終	-/	種別	先頭	最終
16	М	0	15	->	М	400	415	1	D	10	10	->	D	110	11

項目			設定内容			
通信パターン			読出			
交信相手	転送元	機器種別	三菱FX3(Eternetブロック・アダブタ)			
		IPアドレス	192.168.1.250			
		TCP/UDP	UDP			
		ポート番号	1025			
		自局ポート番号	1050			
ビット	転送元	-	種別: M, 先頭0~最終15			
テハイス	転送先		種別: M, 先頭400			
ワード	転送元		種別: D, 先頭10~最終10			
テハイス	転送先		種別: D, 先頭110			

## 4. MELSEC-Fヘビットデータ/ワードデータを書き込むため,設定 No.2に以下の項目を設定します。



1 D

10 ->

40 -> D

40

110

440

110

440

400 415

416 431

15 ->

16

16 M

31 -> M

項目			設定内容		
通信パターン			書込		
交信相手	転送先	機器種別	三菱FX3(Eternetブロック・アダブタ)		
		IPアドレス	192.168.1.250		
		TCP/UDP	UDP		
		ポート番号	1025		
		自局ポート番号	1050		
ビット	転送元	-	種別: M, 先頭16~最終31		
テハイス	転送先		種別: M, 先頭416		
ワード	転送元		種別: D, 先頭40~最終40		
テハイス	転送先		種別: D, 先頭440		



## 5. [適用]ボタンをクリックして,ユニットパラメータの設定を完 了します。

0000:RJ71EN71(E+E) ユニットパラメータ									×
設定項目一覧	設定項目								
検索する設定項目をこに入力	通信	開始待ち時間 言開始待ち8	間 寺間		0 s (Os~255s)	交信相手 全表示	フィルタ	▽ □未設定	行非
<ul> <li>E ==</li> <li>□- ● 基本設定</li> <li>□- ● 自ノード設定</li> </ul>	設定 No.	通信	交信 実行問	货定: 高(ms)		ć	交信相 IPアドレ	手 入)	^
相手機器接続構成設定		10.0	JCI Hay	Nacino	転送元		->	転送先	
□	1	読出	定期	100	三菱FX3(Ether)(192.16	58. 1.250)	->	自局(192.168.1.100)	
通信速度設定	2	書込	定期	100	自局(192.168.1.10	0)	->	三菱FX3(Ether)(192.168.1.250)	
FTPサーバ設定	0 						->		
MODBUS/TCP設定	5						->		
○ シングルのPD通言設定 シングル提号通信部定	6						->		
時刻設定	7						->		
データ交信用のタイマ設定	8						->		
セキュリティ	9						->		
ケートワエイバラメータ設定 クットローク目示/	10						->		~
新いる語言	<								>
<ul> <li>アパケット中社設定</li> <li>ネットワーク動的ルーチング</li> <li>ユニット動作モード設定</li> </ul>	説明 シンプル( また交信)	PU通信を行 相手の設定(	う設定No.ま ま相手機器	を選択し、 のマニュフ	設定してください。 小を確認してください。				^
< >>									~
項目一覧検索結果	5	・エック( <u>K</u> )		1	デフォルトに戻す(山)				
								適用( <u>A</u> )	

## Point

[適用]ボタンをクリックしないと、パラメータは反映されません。

## メニューバーの[オンライン]→[シーケンサへの書込み]をクリック します。





## 7. [パラメータ+プログラム]をクリックし, [実行]ボタンをク リックしてパラメータを書き込みます。

〒(D) 設定(S) 関連核	#能(U)									
<b>.) jinn</b> av	» 🖳 👭 🇊	読出し 🚦	3, ,	T	Re 📃	🔷 🇊 i M	ît			
パラメータ+プログラム(E)	全選択( <u>A</u> )	凡例								
ツリーの全開閉( <u>T</u> )	全解除(N)	CPU	内蔵メモリ		SD34	EUカード 🚺	インテリジェント標能ユニット			
ユニット形名/データ名		*			≣¥8⊞	見出し文	更新日時	サイズ(バイト)		^
■	≣_sample									
😑 🛃 パラメータ										
- 🤣 システムバ	マントレイション・タイン・マン	•					2022/05/12 14:37:46	未計算		
-🙆 ユニットパ	ラメータ	•					2022/06/01 15:31:51	未計算		
- 📲 メモリカー	ドパラメータ						2022/05/12 14:36:10	未計算		
- 🙀 UE-FK	スワード	•					2022/05/12 14:36:10	未計算		
👜 グローバルラ	KJI									
- 한 🍎 - หม	ラベル設定						2022/05/12 14:36:12	未計算		
😑 🌆 プログラム					<b>三羊約田</b>					
🔐 MAIN		•					2022/05/12 14:36:13	未計算		
🛛 🔅 💆 デバイスメモリ	J									
ain 🗐 🖉					副新聞		2022/05/12 14:36:12	-		~
メモリ容量表示( 日容量										
サイズ計算())	プログラムメモリ							15	18容量 17/160KB	
LØU	データメモリ								き容量	
使用溶み容量								19	106/2049KB	
			¢)					<u><u><u></u></u></u>	き容量	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								28	i6/256KB	
減少容量 SDAFUカード									き容量	
減少谷重	30277771-1									

### Point

- ・Ethernet接続で書込みを行う際は,あらかじめ設定用パ ソコンのIPアドレスを接続機器と同一セグメントにしておく必 要があります。
- ・書込みが完了した後は、CPUユニットをリセット、または電 源をOFF→ONしてください。



# 3. MELSEC-Fの設定



GX Works2でMELSEC-Fシリーズのプロジェクトを作成し, Ethernetポート設定を行います。

### 1. プロジェクトを新規作成します。

シリーズ: FXCPUを設定

### 機種: システム構成に合わせて設定

新規作成	×
シリーズ( <u>S</u> ):	FXCPU 🔽
機種(I):	FX3U/FX3UC
ブロジェクト種別(P):	シンプルプロジェクト
プログラム言語(G):	- <u>&gt;√///2(CH9QC)</u>
	OK キャンセル

 ナビゲーションウィンドウの[プロジェクト]→[パラメータ]→[PC パラメータ]をダブルクリックして、表示されたFXパラメータ設定 画面で"Ethernetポート設定"をクリックします。

FXパラメータ設定		×
特殊ユニット設定	内藏位置決め設定 Ethernet术ート設定	1
メモリ容量設定	デバイス設定 PCネーム設定 PCシステム設定(1) PCシステム設定(2)	•
	「メモリ容量	
	16000 💌	
	0 ブロック (0ブロック ~ 31ブロック) P 点	
	┌─ファイルレジスタ容量────────────────────────────────────	
	0 ブロック (0ブロック~ 14ブロック) D 点	
	「プログラム容量	
	16000 ステップ	
	その他特殊設定容量	
	0 ブロック 特殊ユニットの初期値設定は「特殊ユニット 設定」で、内蔵位置決め設定は「内蔵位置	
	□ 特殊ユニットの初期値設定(8ブロック) 決め設定」で詳細設定を行って下さい。	
	□ 内蔵位置決め設定(18ブロック)	
	□ 内蔵CC-Link/LT設定(1ブロック) (FX3UC-32MT-LT-2専用)	
表示画面印刷	. 表示画面プレビュー デフォルト チェック 設定終了 キャンセル	



相手機器とEthernetポートで通信を行うための設定をします。以下のとおりに設定し、[オープン設定]ボタンをクリックします。

使用CH: CH1

IPアドレス: 192.168.1.250(デフォルト)

交信データコード: バイナリコード交信



4. 以下のとおりに設定し, [設定終了]ボタンをクリックします。
プロトコル: UDP
自局ポート番号: 1025
交信相手IPアドレス: 192.168.1.100
交信相手ポート番号: 1050

	プロトコル		オープン方式		自局 ポート番号	交信相手 IPアドレス	交信相手 ポート番号
	UDP	•	MCプロトコル	•	1025	192,168, 1,100	1050
113	TCP	•	MELSOFT接続	•			COLOR DE LA COL
	TCP	-	MELSOFT接続	-			
8	TCP	-	MELSOFT接続	-			

## Point

各項目の設定内容については,「2.3 シンプルCPU通信 設定」の手順3,4で設定した内容と一致している必要があ ります。



## 5. 設定が完了したら, [設定終了]ボタンをクリックして画面 を閉じます。

FXパラメータ設定				×
メモリ容量設定 デバイス設 特殊ユニット設定	定 PCネーム設定 内蔵位置決め設定	PCシステム設定(1) Ethernetポ	PCシステム設定(2) ート設定	
使用CH CH1	入力形式 10道数 👤	オープン設定 時刻服定 ログ記録設定		
<ul> <li>デフォルトルータIPアドレス</li> <li>交信データコード設定</li> <li>・ バイナリコード交信</li> <li>ヘ ASCIIコード交信</li> </ul>		] 必要に応じ設定(	デフォルト / 変更あり	)
■ MELSOFTとの直結接続を3 「 ネットワーク上のCPU検索(2)表示画面印刷 表示画面プレ	楽止する 、応答しない ビュー デフ	7ォルト チェック	設定終了 キャ	

6. メニューバーの[オンライン]→[PC書込]をクリックします。

オン	ライン( <u>0</u> )	デバッグ( <u>B</u> )	診断( <u>D</u> )	ツール( <u>T</u> )				
<b>2</b> 0	PC読出( <u>R</u> )							
4	PC書込( <u>W</u> )							
	PC照合( <u>\</u>	Ŋ						
	二重化操作( <u>N</u> )							

# ア. [パラメータ+プログラム]をクリックし, [実行]ボタンをクリックし てパラメータを書き込みます。

オンラインデータ操作						×	
接続先経路							
Ethernetボートジ通信CPUユニット接続	システムイメージ <b>(G)</b>						
· 請出(U) · · · 書込	• <b>(₩)</b> ⊂	照合(火)	c	育耶余( <u>D</u> )			
CPU1_>	実行対象データ	2の有無 <mark>(</mark>	無し /	有り )			
<u></u> <u> </u> <i> </i>				-			
■ 編集中テータ (パラメータ・プログラ)	LED 2	選択( <u>A</u> )	全選	択取消( <u>N</u> )			
ユニット名/データ名	見出し文	対象	詳細	更新日時	対象メモリ設定	サイズ	
- 唯(プロジェクト未設定)							
「一」「「アレアータ」					フロクラムメモリノナハ		
		~		2022/08/09 11:45:59		1 ステップ	
		<b>V</b>				.,	
PCパラメータ/ネットワークパラメータ		•		2022/08/09 11:45:58			
COMMENT				2022/08/09 11:57:11			
- 日 💽 デバイスメモリ							
IIII IIII IIII IIIII				2022/08/09 11:45:59			
必須設定( 未設定 / 設定済み ) 必要に応じ設定( 未設定 / 設定済み ) プログラムサイズ 1 入テップ - 1 入テップ - 1 入テップ							
関連機能∈)▲					実	行E) 閉じる	
F 🖬 💐							
リモート操作 時計設定 PCメモリクリア							

## Point

- ・Ethernet接続で書込みを行う際は、あらかじめ設定用パソコ ンのIPアドレスを接続機器と同一セグメントにしておく必要があ ります。
- ・書込みが完了した後は,基本ユニットの電源をOFF→ONして ください。



# 4.動作確認

4.1 動作例



MELSEC iQ-RとMELSEC-Fが, シンプルCPU通信で正常に交信できるか動作確認を行います。 パラメータ書込み後に電源をONすると、以下のとおりに自動でデータが読み書きされます。GX Works3とGX Works2の ウォッチウィンドウを使用して、データが読み書きされていることを確認します。





## GX Works3とGX Works2のウォッチウィンドウを使用して、デバイスの読出し/書込みを確認します。

 GX Works3を起動して, MELSEC iQ-Rのプロジェクト を開き, [表示]→[ドッキングウィンドウ]→[ウォッチ1]で ウォッチウィンドウを表示後, 読出し/書込みするデバイスを 登録します。

ウォッチ1							
- WPON │ + IFOFF │ + IFON/OFF反転│ ② 更新							
名称	現在値	表示形式	データ型				
🚱 M400		2進数	ビット				
🔮 D110		10進数	ワード[符号付き]				
🔮 M16		2) 進数	ピット				
📢 D40		10) 進数	ワード[符号付き]				

読出し先デバイス: M400, D110 書込み元デバイス: M16, D40

2. [オンライン]→[モニタ]→[モニタ開始(全ウィンドウ)]で

GX Works3のモニタを開始します。

ウォッチ1【ウォッチ中】

-Ⅲ►ON   - I I-OFF   - I-IF ON/OFF 反転   ② 更新							
名称	現在値	表示形式	データ型				
(🏠 M400	FALSE	<b>2</b> 〕進数	ピット				
🔮 D110	0	10)進数	ワード[符号付き]				
M16	FALSE	<b>2</b> 〕進数	ピット				
🔮 D40	0	10〕進数	ワード[符号付き]				

GX Works2を起動して、MELSEC-Fのプロジェクトを開き、
 [表示]→[ドッキングウィンドウ]→[ウォッチ1]でウォッチウィンド
 ウを表示後、読出し/書込みするデバイスを登録します。

ウォッチ1(モニタ実行中)							
デバイス/ラベル	現在値	データ型					
MO	0	- Е́уҺ					
D10	0	ワード[符号付き]					
M416	0	ビット					
D440	0	ワード[符号付き]					
読出し元デバイス: M0, D10 書込み先デバイス: M416, D440							

4. [オンライン]→[モニタ]→[モニタ開始(全ウィンドウ)]でGX Works2のモニタを開始します。

MELSEC iQ-RからMELSEC-Fへのデバイスの読出しでは,

MELSEC-FのM0に"1"を, D10に"3"を入力します。

ウォッチ1(モニタ実行中)		
デバイス/ラベル	現在値	データ型
MO	0	- ピット
D10	0	ワード[符号付き]
M416	0	ピット
D440	0	ワード[符号付き]



## 5. MELSEC-Fのビットデバイス/ワードデバイスを変更

後, GX Works3のウォッチウィンドウでMELSEC iQ-Rに

データが読み出されていることを確認します。

MELSEC iQ-RのM400が"TRUE", D110が"3"となれば 正常に読出しができています。

#### MELSEC-Fの ウォッチウィンドウ

ウォッチ1(モニタ実行中)							
デバイス/ラベル	現初	生値		データ型			
MO	1		ピット				
D10	D10 3			ワード[符号付き]			
MELSEC iQ ウオッチウイン	読出	IL					
		蓮 🛯 🗃 更	新				
名称	現在値	¥	表示形式		データ型		
👰 M400	TRUE		<b>2</b> 通数		Ëуh		
👔 D110	3		10)進数		ワード[符号付き]		

 MELSEC iQ-RからMELSEC-Fへのデバイスの書込みでは、 MELSEC iQ-RのM16を"TRUE"へ変更し、D40に"5" を入力します。

#### ウォッチ1【ウォッチ中】

┨┣ON ┃ ┨ ┣OFF ┃ 北 ON/OFF反転 ┃ 2 更新						
名称	現在値	表示形式	データ型			
👰 M400	TRUE	2〕進数	<mark>ቻ</mark> ット			
D110	3	10〕進数	ワード[符号付き]			
M16	FALSE	2〕進数	ピット			
🚯 D40	0	10〕進数	ワード[符号付き]			



# MELSEC iQ-Rのビットデバイス/ワードデバイスを変更後, MELSEC-Fにデータが書き込まれていることを確認します。 MELSEC-FのM416が"1", D440が"5"となれば正常に書 込みができています。

#### MELSEC iQ-Rの ウォッチウィンドウ

ウォッチ1【ウォッチ中】								
名称     現在値				表示形式		データ型		
1 M400 TRUE				2) 進数		<mark>ピット</mark>		
D110	110 3			10進数		ワード[符号付き]		
👰 M16	TRUE			2)進数		ピット		
🚱 D40	5			<b>10</b> 進数		ワード[符号付き]		
MELSEC-Fの ウォッチウィンドウ				書込み				
ウォッチ1(モニタ実行中	₽)							
デバイス/ラベル 現在値		現在値			データ型			
M0 1		1			ピット			
D10 3		/		ワード[符号	号付き]			
M416		1			Ëvh			
D440 5					ワード[符号	号付き]		



## 安全にお使いいただくために

- ・設計上の注意, 配線上の注意等に関しましては, ご使用の製品マニュアルに記載の安全上のご注意をお読みください。
- ・製品保証内容については、ご使用の製品マニュアル記載の保証についてをお読みください。

## おことわり

- ・本書に記載されている事例は参考用のため、動作を保証するものではありません。 ご採用に際しては機器・装置の機能や安全性をお客様自身でご確認のうえ、ご使用ください。
- ・ご使用の製品のバージョンにより使用できる機能や設定が異なるため、本書記載のバージョンを満たした製品を使用してください。 製品のバージョンによっては、設定の内容や手順、画面が本書と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。その際は、ご 使用の製品マニュアルやソフトウェア内ヘルプを参照してください。
- ・本書の内容に関しては, 改良のため予告なしに仕様などを変更することがありますので, あらかじめご了承ください。
- ・本書内で使用するソフトウェアと機器との接続方法については、各ソフトウェアおよび接続対象機器のマニュアルをご確認ください。
- ・本書の内容について詳細を確認したい場合は、関連マニュアルをお読みください。



## 最新のマニュアルPDFは, 三菱電機FAサイトからダウンロードできます。 www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

マニュアル名称	マニュアル番号
MELSEC iQ-R Ethernetユーザーズマニュアル(応用編)	SH-081253
FX3UCシリーズユーザーズマニュアル [ハードウェア編]	JY997D11601
FX3S・FX3G・FX3GC・FX3U・FX3UCシリーズプログラミングマニュアル [基本・応用命令解説編]	JY997D11701
FX3U-ENET-ADPユーザーズマニュアル	JY997D45901
FXシリーズユーザーズマニュアル[通信制御編]	JY997D13301
GX Works3オペレーティングマニュアル	SH-081214
GX Works2 Version 1オペレーティングマニュアル(共通編)	SH-080730

## 三菱電機株式会社

#### ▲ 安全に関するご注意

本資料に記載された製品を正しくお使いいただくためご使用の前に必ず 「マニュアル」をお読みください。

三菱電機 FA 検索 メンバー www.MitsubishiElectric.co.jp/fa 商標、登録商標について

本文中における会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。 本文中で、商標記号(<sup>™</sup>、®)は明記していない場合があります。

#### インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や 各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルや CADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

#### BCN-89999-8214-B(2403)

#### 2024年3月作成